

くらし塾 さんゆう塾

vol.28
2014春号

●巻頭インタビュー

ひたむきな努力が

勝利以上の

価値ある人生をつくる

日本体育大学 教授 山本博

●そこが知りたい！くらしの金融知識

消費税アップにも負けない

「家計の見直し」術

●連載エッセイー経済学的思考のススメー

経済学的思考のススメ

経済学者 中島隆信

●金融教育の現場レポート

「お金の役割」を考える
金融教育の実践



ひたむきな努力が
勝利以上の
価値ある人生をつくる

巻頭
インタビュー

山本博

日本体育大学 教授

●巻頭インタビュー	2
●そこが知りたい! くらしの金融知識	6
消費税アップにも負けない 「家計の見直し」術	
●連載エッセイ	11
—経済学的思考のススメ— 〈第4回〉経済学的思考のススメ	
●金融・経済キーワード	14
「72の法則」	
●まんが わたしはダマサレナイ!!	16
健康食品送りつけ詐欺	
●見てわかる金融力調査	19
世代別の特徴	
●のぞいてみよう 日本の伝統芸能	20
文楽	
●働く人のライフ&マネープラン	22
キャリアアップ!資格取得 ～費用、自己啓発支援制度など	
●金融教育の現場レポート	24
「お金の役割」を考える 金融教育の実践	
●値段のむかし・いま	28
映画	
●知るぼとラウンジ	30
都道府県金融広報委員会 事務局員の活動紹介 金融広報アドバイザーの紹介	
●知るぼとホームページ クローズアップ!	32
●おたよりコーナー	33
●都道府県金融広報委員会一覧	34
●知るぼと最前線	35
作文・小論文コンクールの審査結果	

アーチエリート選手、
そしてオリンピックメダリスト、
さらに教育者として活躍する山本博さん。
現在も現役選手として
活動を続けながら次世代の育成に
取り組んでいます。
今回は、アスリートと
指導者という2つの視点から
幸福感やお金観、
そして価値ある人生を過ごす
ヒントをうかがいました。



●山本博(やまもと・ひろし)

1962年神奈川県横浜市生まれ。保土ヶ谷中学校1年からアーチエリートを始め、3年生にて全日本アーチエリート選手権大会出場。高校・大学時代はインターハイ3連覇、インカレ4連覇。日本体育大学在学中にロサンゼルスオリンピックで銅メダルを獲得。その後、国内外の大会で好成績を収める。2004年開催のアテネオリンピックで銀メダルを獲得。メダル獲得はロサンゼルス以来20年ぶり。オリンピック5大会に出場。現在も現役選手として活躍中。

工夫と努力で現状を変える 大切さを知った少年時代

初対面でも人柄の良さがにじみ出るような人がいる。取材場所に現れた山本博さんがそうだった。取材スタッフに気さくに言葉をかけるその姿は春風のように温かく、眼差しは、強さを持ちながらも優しい。打ち解けた雰囲気の中でインタビューは少年時代の話題から始まった。

「4人の男兄弟の3番目として育ちました。まだまだ日本が豊かではない時代です。食べ盛りの男の子ばかりのわが家の食卓は、おかずの取り合いで弱肉強食状態だったのです」そう言って山本さんは笑う。

しかもそのおかず争奪戦は子どもなりに考えられた、知略戦だったようだ。例えば兄たちから冷蔵庫の水を持って来るように食事中に言われる。しぶしぶ席を立ち、水を持って戻って来たときにはもう大好きな肉料理は残っていない。兄たちは山本さんに何か用事を言いつけ、席を離れたスキにそれを狙うのである。やがておかずを奪われなために山本さんは、あらかじめ水など言われそうなものを先読みし、手元に用意するようになった。問題は工夫で解決できる。それを子ども心に学んだ。

山本さんは、中学に進みアーチエリートに出会う。

いろいろな運動部を迷いながら見学し、それまで続けていた野球にほぼ決めかけていたとき、アーチエリートの珍しさにふと興味を持った。試しに弓を持ち、矢を放つ。すると的に命中した。全身に感動が走る。その

一瞬の体験が入部を決心させる。

しかし、すぐに頭角を現したわけではなかった。それどころか、最初は新入部員の中でも上達が遅いほうだったと言う。その中で山本さんは、努力と工夫を重ねる。先輩のプレーをしっかりと観察し、自分のフォームを分析し、その結果を活かした練習を何度も何度も繰り返しながら、正しいフォームとプレースタイルを身につけていった。

試合の成績は少しずつ上がり、やがて加速度的に上達していった。

中学3年生になると史上最年少で全日本アーチエリート選手権に出場するまでになった。高校進学後も快進撃は止まらない。インターハイに3年続けて出場。そのすべてを優勝で飾る。向かうところ敵なしの山本さん。

生きることは自分との戦い

その後、日本体育大学に進学した山本さんは、3年生のときにロサンゼルスオリンピックに出場。銅メダルを獲得する。

「オリンピック初出場でメダルを取れた喜びはもちろん大きいものでした。けれどそれと同じくらいトップに立てなかったという悔しさもありました。敗因はメダルを意識しすぎて集中できなかったからです。金メダルを取るつもりで試合に挑んでいたのに、本当に残念でした」と山本さんは振り返る。

以降、山本さんは、ソウル、バルセロナ、アトランタのオリンピックに出場。しかしメダルを獲得する

インタビュー 山本博



どころか、入賞すらできなかった。そしてシドニーでは国内予選で敗れ出場を逃した。

希望と失望、その繰り返しの中で、山本さんの思考は、「なぜアスリートは挑み続けるのか」という本質にたどり着く。

競技には勝ち負けがある。そして最終的に優勝者一人を除けば、全員が敗者になってしまう。スポーツ競技においては勝者になる確率は、極めて低い。アスリートたちは、懸命に練習を繰り返し、自分のプレーを分析し、改善を図ろうとする。けれども必死の努力は実を結ばないかもしれない。

よく考えれば人生も同じではないだろうか。未来は分らない。必ずこうなるといふ保証もない。競技も人生もひたむきな努力を続けるか否か、選択肢は二つに二つしかない。山本さんは、次の勝利を強く信じてベストを尽くす生き方を選んだ。こうした考え方にはどんな心の持ちようが必要なのだろうか。

「アーチェリーに明確な対戦相手はいません。もちろんライバルとなる選手はいますが、その相手を研究すれば勝てるというものではないのです。意識しないといけないのは自分自身です。だからこの競技は、自分との対話が大事だと思っています。昨日の自分と今日

の自分は違います。また一日何百本も矢を放つ練習中でも変化します。命で悔しい思いをするのは最初のうち。本数を重ねていくうちに悔しいという気持ちが麻痺し、慣れていきます。一本一本に「喜ぶ」憂しい心の安定感が必要ですが、なぜ狙ったところに当たらなかったかという、失敗に対する細かな分析を怠らない気力も持ち続けなければなりません。

そのためには、自分をコントロールし、乗り越えて、自分との対話を続けなくてはなりません。刻一刻と変わる自分を相手にするのは容易ではありません、ときには自分自身と激しくぶつかりあう場合もあります。そんな厳しい対話が必要なアーチェリーは『心の格闘技』と呼んでも良いでしょう。これは人としての生き方にも通じるのではないのでしょうか」と山本さんは話す。

アスリートとしてアーチェリーを続ける中でかつてのライバルや仲間が次第に引退していったが、山本さんはロサンゼルスオリンピックから20年経過した2004年にはアテネオリンピックに参加。年齢が半分ほどの選手が多いことに戸惑いを覚えながらも、ロサンゼルスオリンピックのようにメダルを過剰に意識することはなかった。本当の対戦相手は自分であることを知っていたからだ。山本さんは銀メダルを手にし、「20年かけて銅から銀へ」と世の中の話題となった。

努力する楽しさを教える

山本さんは、大学卒業後、アスリートとしての人生を歩みながら、高校の体育教師や母校日本体育大学

の准教授、教授として、教師の立場から次世代の育成に取り組んできた。

アスリートと教師に共通するのは、人間を相手にすること。今日の自分が昨日とは同じではないように、まったく同じ教え子は存在しない。教員生活も30年を越える山本さんは、ベテラン教師である。多くの生徒や学生を指導してきた自信と実績がある。その中で気をつけているのは、過去の経験がそのまま通用すると思わないことだと言う。選手としての山本さんは、現在の練習でも、自分が放った一本の矢がどのようなものであったか、分析と改良を重ねている。それと同じく教育の現場においても改良と工夫を怠ることはない。

そんな山本さんが、教育の現場でよく訴えるのは、努力する楽しさだ。

「トレーニングを例にするなら、普通は、ある程度練習がハードになると、精神面で辛さを感じてそれ以上続けられなくなります。視点を変えれば、メンタル面の限界が肉体面の負荷の上限を画しているのです。一流のアスリートは、メンタル面の限界を超えてトレーニングを続ける力を持っています。肉体面でギリギリの限界が近づいても精神面で苦痛を感じず、いわば極限の努力を楽しんでいるわけです。努力といえば、我慢して辛い練習をするイメージがあるかもしれませんが、しかし、根本的には、自分に勝つことを楽しむものだということを知ってほしいのです。もちろん遊びのようない楽しさとは違いますが、大きな満足感や達成感があるはずだ」と話す山本さん。

こうしたアスリートとしての生き方を子どもたちに伝えるのは非常に難しい。山本さんは、以前勤めていた高校で、アテネオリンピックで手にした銀メダルを2000人の生徒たちにじかに手で触らせることにした。オリンピックメダルと聞けば、扱いも慎重になりそうだが、山本さんは惜しむことなく直接生徒の手に触れさせたのだ。

生徒たちの反応は、メダルへの道のりを聞いたがる生徒、値段を聞いてくる生徒など様々であったが、山本さんがこの試みで子どもたちに伝えたかったのは、目標に向かってひたむきに挑み続ける心だった。初めて本物に触れた感覚や驚き、感性とともに、そうした心を生徒たちがいつまでも忘れないでほしいと願っている。

お金は夢を叶えるための道具

山本さんは、アーチェリーを通してお金のありがたさを知った。初めて自分の弓を購入したときだ。中学に入学した当時、山本さん自身がこの競技を珍しいと感じたのと同じように、両親もアーチェリーに対する認識はほとんどなかった。生活も余裕があるわけではない。当然、両親は財布の紐を決して緩めなかった。

だから山本さんは、コッコツ貯めたお金で買った弓を手にしたときの感動を、今も忘れてはいない。中古ではあったが、あまりにも嬉しくて抱いて寝たと言う。

その後、トップ選手となってメーカーから弓具の提供を受けられるようになってからでも、必要以上に弓を持つとうとは思わない。練習で使い込み、自分のものと

してなじんだものを大切に使用したいからだ。

「高校卒業後の1980年、イタリアで開催された世界大会への出場が決まったときの苦労も忘れられない」と言う。「選手として選ばれたのは嬉しかったが、用意しなければならぬ自己負担金は35万円でした。土木作業や建築現場、飲食業など比較的時給が高いアルバイトを掛け持ちしながらお金を工面しました。そしてアルバイトの合間を縫うようにアーチェリーの練習時間も必死で捻出していったのです。苦勞して稼いだ大金でしたが、このお金でまた新たな夢をつかむことができると思うと喜びでいっぱいになりました」と山本さんは話す。

仕事についても、自分なりの考えを持っている。大学教員の山本さんは、学生たちの就職の相談を受けることがある。学生たちは、会社の名前や給与などに捉われがちであるが、これから社会に羽ばたく学生には、働き甲斐を見出せる仕事かどうかという視点で就職してほしいと山本さんは願う。これなら一生懸命に努力できるといふ仕事に出会うことができれば、その努力がなかなか実を結ばなかったとしても、自分を信じて忍耐強く挑み続けることもできる。そんな仕事で報酬がもらえて、家族を養うことができれば、それは十分に幸せではないだろうか。

自分の未来に挑戦し続けるだけではなく、若者たちの将来にも心を配る山本さん。その温かな眼差しからはひとときわ熱い思いが伝わってきた。

そこが知りたい!

くらしの金融知識

消費税アップにも負けない 「家計の見直し」術

このところ物価の上昇が見られ始めている中、4月からはいよいよ消費税がアップします。この機を前向きにとらえ、マイホームも子どもの進学も、そして明るい老後も手にするために家計を見直してみしましょう。

消費税だけではない
家計負担増加の数々

4人家族で負担増は約7万円

4月を迎えれば、春本番。新生活や新年度がスタートする、何となくウキウキする季節ですが、今年ばかりは様子が違うかもしれません。4月1日より、消費税率が5%から8%になるからです。

とは言え、この3%アップがどれほど家計に影響するのかについては、多くの人が抱くのは漠然とした不安でしかないはずです。そこ

で、ひとつ数字を紹介しましょう。

第一生命経済研究所が、消費税率が8%に上がったときの家計負担を試算したところ、4人家族（夫婦、子ども2人）で働き手が1人の世帯のケースで、年収が450万円〜500万円であれば、年間の負担増は6万9112円となりました（左頁図表1）。

もちろん、あくまで目安ではありますが、とくに家計支出が何かと増え始める30代、40代の子を持つ世帯にとっては、年間7万円の支出増は無視できない額と言えるでしょう。

さらに、同試算によると、年収が250万円〜300万円の時、年間の負担増は5万3739円、年収650万円〜700万円では9万6464円となります。

この結果を、年収に対する税負担の増加率でみると、所得が低い世帯ほど負担増をより感じる（増加率が高い）、いわゆる「逆進性」が傾向としてあることがわかります。

また、今回の消費増税はニューズなどで取り上げられ関心も高いわけですが、実はこれ以外にも、

2012年度以降、新税導入や社会保険料のアップなど、国民負担は増えているのです（左頁図表2）。

そのひとつが、住民税の「年少扶養控除（33万円）」の廃止です。16歳未満の扶養親族がいる場合に適用されるこの所得控除は、2011年に所得税に対しても廃止されており（控除額38万円）、このダブルの廃止による税負担は、年収500万円、子ども2人（16歳未満）の世帯で10万円前後の負担増となっているはずです。

【監修・執筆】

清水 京武（しみず けいぶ）

編集プロダクションを経てフリーライターとして独立。マネー情報誌『あるじゃん』に創刊時より関わる。同誌の誌上マネー相談「マネープランクリニック」では15年にわたって500組を越す家族を取材、家計診断のページづくりを担当。現在、『All About』のガイドとしてマネープラン、家計管理、貯蓄、運用等の記事を執筆。

「家計を見直す」いい機会に

ここまで話を進めて、何だか重たい気分になった人もいるかもしれません。確かに、増税や社会保険料アップは家計にとっては痛手です。収入アップがなかなか望めない場合には、なおのこと。しかし、

だからこそ、これを「家計を見直す」ためのいいキッカケにしてはどうでしょう。

子どもの進学や住宅購入など、ライフイベントが目白押し。世帯にとつては、今後大きな支出が否応無しに訪れます。たとえば、子ども1人にかかる教育費はその進学コースによっても異なりますが、

高校まで公立、大学は私立文系の場合でおよそ900万（次頁図表3および4）。2人なら単純に倍となります。

また、多くの人が不安に感じている老後資金についても、ひとつの参考数値ではありますが、無職の高齢者世帯では、支出に対して収入（公的年金などの社会保障給付他）が月平均で約5万4000円不足

しているという調査結果（次頁図表5）が出ています。それをカバーするのが老後資金とすれば、20年間で必要な額は約1300万円。そして、そういった資金を計画的に貯められるかどうかは、結局、日々の家計管理にかかっているのです。

家計管理の目的とは「ライフプランを実現するための貯蓄が継続的にできる家計」を目指すことです。そして、多くの世帯で、その実現には「家計の見直し」が欠かせません。収支で赤字となる月がある、貯蓄はボーナスに頼っているといった家計であれば、すぐにでも着手したいところです。

また、贅沢はしていない、節約を心掛けている、という世帯でも、実はちよつとの工夫で貯蓄ペースが上がることもあるのです。

家計見直しの第一歩として 家計簿をつけよう

家計の見直し方法はさまざまですが、もし現在、家計簿をつけていないのなら、そこから始めてみてはどうでしょう。「家計簿」と聞くともちよつと古くさいイメージがあるかもしれませんが。しかし、その効果は今でも十分に高いのです。

毎月食費にいくら支出して、電気代はいくらで、その月の収支はどのくらいだったのか。そういった家の中のお金の流れを把握することが家計管理の基本です。そして、その流れが支出に偏っていれば、貯蓄は思うようにできません。それを見つて、修正することが家計の見直しであり、家計簿の役目なのです。

続けるコツは簡略化

家計簿をつけることは面倒で、地味な作業です。以前はつけていたが途中で挫折した、という人も少なくありません。そこで、続けるポイントを整理してみましょう。

まず、最初はできるだけ簡略化することです。支出の費目が多すぎると整理が大変です。家賃、水道光熱費、食費、教育費、通信費、

図表1：消費税率が8%に上がったときの家計負担増

モデルケース＝4人家族で働き手が1人のケース

年収	250万円未満	250万～300万円	300万～350万円	350万～400万円	400万～450万円
負担増額	5万5,349円	5万3,739円	5万7,890円	5万7,418円	6万4,999円
年収	450万～500万円	500万～550万円	550万～600万円	600万～650万円	650万～700万円
負担増額	6万9,112円	7万3,691円	7万2,908円	8万8,388円	9万6,464円
年収	700万～750万円	750万～800万円	800万～900万円	900万～1000万円	1000万～1250万円
負担増額	9万4,993円	9万9,953円	9万9,819円	10万1,664円	11万4,118円

出典／日本経済新聞（平成25年10月2日付記事「脱デフレへ正念場」より。試算は第一生命経済研究所）
（※）増税にともない予定されている低所得者への給付金は考慮されていない

図表2：2012年度以降に実施、または今後実施が予定されている増税等

増税	
消費税	2014年4月に8%、2015年10月に10%と段階的に消費税率がアップ
住民税	2014年6月から10年間、毎年、均等割部分が1,000円加算
地球温暖化対策税	2012年10月よりスタート。 家計負担増は1世帯最大で年間1,200円程度（環境省試算）
復興特別所得税	2013年1月より所得税額に2.1%分を上乗せする定率増税を25年間実施
社会保険料のアップ	
健康保険料	保険料率が2012年4月より全国平均で9.50%から10.00%に
介護保険料	保険料率が2012年4月より1.51%から1.55%に
国民年金	毎年4月に月額280円アップ。2017年以降は1万6,900円に据え置き
厚生年金	毎年9月に保険料率が0.354%ずつ引き上げられ、2017年に18.30%で統一予定
控除の廃止	
住民税	2012年より「年少扶養控除（33万円）」を廃止

図表6：費目別の家計の見直し効果とその方法

◎=見直し効果大 ○=それなりに見直し効果あり ●=見直し効果は高いが、方法に十分な検討、工夫が必要

	見直し効果	見直し方法
住居費	◎	持ち家の場合には、ローンの借り換え・繰上返済、賃貸の場合には、住み替え
車両費	◎	車所有そのものの見直し、軽自動車・低燃費車・ハイブリッドカーへの買い替え
食費	●	外食を減らす、余分な食品を買わない
教育費	●	私立進学、習い事などが家計に対して適正かどうかの検討、奨学金利用
通信費	○	利用方法、契約プランの見直し
水道光熱費	○	エコ家電の利用、節電等を実践する生活
保険料	◎	保険自体の解約、特約部分の解約、保障の減額、払済保険など
使途不明金	◎	支出内容の明確化、本当に必要なものしか買わない習慣をつける

また、家計収支が赤字だと見返すのが怖いという現実逃避型の人もいるようです。しかし、つけた内容をしっかり家計の見直しに活用してこそ、家計簿をつける意味が生まれるのです。

では、どう活かせばいいのでしょうか。まず、家計の支出傾向を知るために、最初の1〜3カ月で、月間の支出総額と費目別の支出額を家計簿から算出します。次に、目標とする貯蓄額から毎月の貯蓄ペースを割り出し、それに合わせて支出額の目標を設定します。

たとえば、教育費や住宅資金など、毎月5万円貯蓄したいとしましょう。その場合、仮に月収を30万円とすれば、貯蓄額を引いた25万円が目標支出額となります。そして、実際の支出額が28万円ならば、支出をどこかで3万円分、削らなくてはなりません。その作業が、家計の見直しというわけです。

効果的に実践する家計の見直しとは

これまでできていなかった貯蓄を目指す場合、方法は主に2つ。ひとつは収入アップ、もうひとつは支出の削減、つまり家計の節約、儉

約です。理想は両方とも着手することですが、ここでは後者についてその具体策を考えてみましょう。

見直し効果の高い固定費の削減

支出の削減は、いかに合理的、効果的に行うかが重要なポイントです（図表6）。とくに効果があるとしていているのが固定費の削減です。固定費とは、毎月あるいは定期的に一定額が支出されます。家賃、駐車場代、保険料、税金、住宅ローン、その他各種ローン、また、携帯やスマホの定額プランの支払いや学習塾、習い事の月謝などもそれに含まれます。こういった固定費は一度下げれば、その後は何もしなくても下がったままの額が維持されるという大きなメリットがあります。

その中でも、もっとも削減に着手しやすい固定費が保険料でしょう。死亡保障を減額する、終身保険から定期保険に切り替える、終身保険や養老保険などを払済保険にする（保険料の支払いを途中で終え、結果的にこれまで支払った分に該当する保障が残る）など、その方法はいろいろです。ただし、最小限の必要保障額は確保したいので、保障内容の見直しには十分

な検討が必要です。

住宅ローンの見直しも効果は高いものの、いくつか条件があります。借り換えは新規で借り入れるのと同様のコストが発生します。借入額、返済期間、金融機関などによってその額は異なりますが、平均で50万〜60万円が必要ですが、それを支払っても、利息で得をするかどうかが問題です。毎月の支払い額が下がらなければ、家計負担は減りません。

また、繰上返済には期間短縮型と返済額軽減型があります。支払い総額でより得をする（支払利息が減る）のは期間短縮型なので、できればこちらを選択したいところですが、毎月の支払額は同じままです。月々の固定支出の削減を優先するのであれば、返済額軽減型を選択せざるを得ないことになります。加えて、軽減効果が実感できるには、ある程度まとまった額を繰上返済に回さなくてはなりません。たとえば、2500万円を30年返済、固定金利2・0%で借り入れた場合、5年後の繰上返済で、毎月の返済を1万円軽減するには、約250万円（手数料を含まず）が必要となります。

食費は手間と創意工夫が必要

これに対して、家計支出を削減する上で、意外に難しいのが食費です。外食を控えることには一定の効果がありますが、単純に食費を下げると食卓が一気に寂しくなります。食生活は長い間の習慣が強く影響しているため、レベルを落としてしまうと、気持ちも後ろ向きになりがちです。作り手側が手間を掛け、見た目や味に工夫する必要があるようです。

難しいという点では、節電も同様です。日頃の生活で心掛けても、下がる金額はわずかということがままあるからです。初期費用はかかりませんが、省エネの効果の高い家電の購入や電球のLEDへの買い替えといった抜本的な対応が有効でしょう。

また、発想を大きく変えると思っている以上に節約できる場合もあります。その代表がカーシェアリングです。マイカーを保有せずシェアしていくというビジネスは、年々その利用者を増やしており、昨年、カーシェアリング各社の会員数の総計は29万人、車両台数も9000台に達しました。住まいが首都圏およびその近郊で利用

は休日か月に3、4回程度であれば、そのコストはクルマの維持費（ガソリン代も含む）の3分の1程度に抑えられるはずです。

**家計管理を成功させる
長続きのポイント**

家計の見直しはその効果的な方法もさることながら、いかに継続させるかが重要になってきます。頑張つて家計簿をつけ、家計を見直し、目標の貯蓄ができたとしても、それが1カ月で終わってしまつては意味がありません。継続できるのか、それとも途中で挫折してしまうのか、その違いの原因は何なのでしょう。

無理なら軌道修正しよう

まず考えられるのは、無理な削減です。食費を削り、節電を徹底的に行い、友人からの誘いも断り、ひたすら節約に励む。何から何まで我慢では、なかなか長続きはしません。心に余裕が消え、それがストレスになり、その反動で以前にも増して浪費するようになったというケースも実際にあります。

節約は、削りやすいところから削るのが鉄則。支出の優先順位を明確にするということです。レ

ジャー費は削れるが、食費は削れないというなら、それに合わせて家計の見直しをしなければよいのです。また、結果的に貯蓄ペースが落ちるとしても、ときに「使う」ことも効果的です。たとえば、予算を決め、家族で月に1回外食をする。そういった支出のメリハリを上手につけられる世帯は、家計管理が長続きしています。

また、家計の見直しは軌道修正を加えながら続けていくことも大切です。支出の削減幅が大き過ぎたため、どうにも家計のやりくりができないなら、削減幅を小さくすればいいのです。月5万円の貯蓄が必要としても、4万円が限界なら、目標とする貯蓄額を変えてみる。希望するマイホームを新築から中古に切り替えれば、資金は1000万円近く下げられるかもしれない。あるいは低い貯蓄額から始め、段階的に引き上げていくという方法もあります。ともあれ、絶えず収支のバランスを見ながら、場合によっては教育費や住宅購入の予算を見直しつつ、無理のない貯蓄額を設定したいところです。

家族の協力が不可欠

家計の見直しは、気持ちに左右

されることが多々あります。単なる節約は我慢にしか思えず、続ける気持ちが萎えてきます。そこで大事になるのがモチベーションです。何のために我慢をし、節約をするのかが明確で、かつ自分の希望に即したものであれば、自然と節約はできてしまいます。家が欲しい、子どもを私立に通わせたい、あるいは独立開業したいといった気持ちが強いほど、家計の見直しは苦にならないはずです。

しかし、家族がいる場合、節約は1人ではできません。家計の見直しに家族の協力は不可欠なのです。自分だけが熱心で、配偶者や子どもたちが非協力的では、その努力も空回りするばかりです。結果、ストレスを溜め込み、家計の見直しそのものがストップしてしまうこともあります。まずは家族で話し合いましょう。とくに夫婦間では目的を共有し、家計の見直しの必要性をお互いに理解することです。

4月は何かを始めるのにふさわしい新スタートの時期。家計を見直し、目標とする貯蓄を設定する。そして、そのために家族が協力していけば、希望するライフプランはきっと実現するでしょう。



経済学 的思考 のススメ

第4回

何気ない人の行動にもすべて理由があり、分析することが経済学では可能です。しかし分析そのものが目的ではなく、身近な問題をひとつずつ解決していくうえで役立つ、きっかけとすることが大切です。最終回は、そんな誰でも身に付けることができる経済学的思考のススメがテーマです。

経済学的思考のススメ

経済学的思考とは

これまで3回にわたって夫婦や家族をテーマとしたお話をしてきました。どのような感想をお持ちになったでしょうか。夫婦や家族は愛情によって結ばれているのに、それをドライな損得勘定で説明することには納得できないとお感じになった方も多いことでしょう。

もちろんおっしゃるとおりで、私が自分の家族のことを考えるときも、常に「損得マシーン」のように利益とコストを天秤にかけて判断しているわけではありません。

ただ、実際に行動することと説明することは別だとする考え方もあります。ある高名な経済学者は「経済学者が考えているように人間は行動して

いるわけではない」との批判に対して、「リングは木から地面に落ちるときに『落ちたい』と思って落ちていくわけではない」と反論したそうです。つまり「本人」がどのような気持ちで行動しているかということと、その行動をどのように説明するかは別物という意味です。

この最終回では、経済学者が考える説明というのはどういうものなのか、例をあげてお話してみたいと思います。

なぜ若いカップルは手をつなぐのか

休日の渋谷を歩くと、手をつないで歩く男女（手つなぎカップル）をよく見かけます。なぜ彼らは手をつないでいるのでしょうか。この問いに対して、ほとんどの人は、「お互いに好きだから手をつない

中島 隆信 なかじま たかのぶ

経済学者。慶應義塾大学商学部教授。専門は応用経済学。1960年生まれ。83年慶應義塾大学経済学部卒業、01年同大学博士号（商学）取得。01～07年7月、09年～慶應義塾大学商学部教授、07～09年3月内閣府大臣官房統計委員会担当室長。

寺、障害者、「オバサン」、刑務所といった、経済学とは一見縁遠いと思われる対象を、経済学の視点から一般向けに論じた著書多数。また、「大相撲の経済学」を著すなど大相撲にも造詣が深く、大相撲野球賭博問題を契機として設置された日本相撲協会「ガバナンスの整備に関する独立委員会」の委員に就任し、副座長として年寄名跡の売買禁止などを内容とする相撲協会改革案についての意見書を取りまとめている。

でいるに決まっているじゃないか」と答えます。しかし、経済学者の答えはそれとは違います。

11月22日は「いい夫婦」の日だといわれています。昨年この日、あるショッピングモールが「手つなぎ夫婦」にクーポン券をプレゼントするという企画をしました。その企画を聞いて手をつなぎながら窓口を訪れた夫婦は、とても仲睦まじく見えました。報道機関の取材に対して、「手をつないだのは何年ぶりかなあ」と話していました。実際、街でよく観察してみますと、手をつないでいるのはほとんど年齢が若くまだ結婚していないカップルのようです。つまり、「手をつないでいる」とことと「いいカップル」であることには必ずしも相関がないことが分かります。

そうだとするとなぜ手をつなぐのでしょうか。もつと正確に言えば、なぜ大勢の人が見ているところで手をつなぐ必要があるのでしょうか。わざわざほかの通行人の邪魔になるような混雑したところではなくてもよさそうにみえます。

この問題に対する経済学者の答えは、「周囲に対して自分たちが『いいカップル』であることを見せるため」というものです。他人に見せることが重要なのです。他人に見せることによって自分たちの愛を確認し合っているといってもいいでしょう。このように、自分たちの意志をより確実なものにする行為を、経済学では「コミットメント」と呼びます。

たとえば、ある愛煙家が禁煙しようと考えたとき、一人静かに決意するよりも、仲間や上司のいる

前で、あるいは自分のブログなどで高らかに宣言する方が効果的といえます。なぜなら、みんなの前で宣言してしまった以上、再びタバコを手取るには、みんなに説明しなければならぬでしょう。しかも、説明すると、三日坊主と笑われてしまうかもしれないのです。このことが大きな心の負担になり、後に引けなくなるのです。コミットメントは禁煙をやめてしまうコストを高くするといえるのです。

こう考えると、手をつなぐカップルのほとんどが結婚前であることも説明がつきます。なぜなら、結婚式や披露宴というものが最大のコミットメントだからです。多くの知人や親族が見守る中、神前で変わらぬ愛を誓うのです。その後の披露宴では、手に手を取ってウェディングケーキに入刀し、親戚のおじさん、おばさんが「愛の讃歌」を熱唱し、新婦の友人が涙ながらのスピーチをします。これほどの祝福を受けてしまったら、おいそれと離婚などできるわけがありません。ですから、結婚式というコミットメントの済んだ夫婦にとって公衆の前で手をつなぐ必要はありません。逆に言えば、恋愛中のカップルが手をつないでいるのはまだコミットメントが足りない状態、すなわち二人の関係が不完全であることを意味しているといえます。

この説明で納得していただけましたか。

食品偽装問題を説明する

昨秋、大阪の某ホテルに端を発した「食品偽装問題」ですが、その後、さまざまなホテルやデパー

トでも同様の問題が発覚し、大きく報道されたのでご記憶の方も多いと思います。

この問題に対してコメントを求められた客の多くは、「食材を誤魔化しているなんて許せない」「信用して買ったのにだまされた気分だ」などと答えています。また、この問題の原因については、業者サイドは「食材が途中で変わったことを表示し忘れた」などと過失であることを強調する一方、客サイドは「金儲けのために安い食材で代用したんだろう」と思っているように見受けられます。さて、経済学者はどう考えるのでしょうか。

確かに、業者にも言い分はあるでしょうし、客の解釈ももつとも思えます。でも問題の背景にはもつと深いわけがあるのではないのでしょうか。このニュースを聞いたとき、私はひとつの疑問を持ちました。それは、「信用できない」「だまされた」とカメラの前で不満げに話す消費者は、同時に、安価な食材と高価な食材の識別ができないことを告白しているのではないかということです。

実際、「バナメイエビ」と「芝エビ」は現物を見れば別ですが、中華のチリソース炒めにしてしまうとプロでもほとんど見分けがつかないそうです。テレビでは、芸能人が本物とニセ物の味の見分けがつくかを試される番組を目にしますが、グルメを自称する人でもなかなか正答するのが難しいようです。今回問題となったレストランの中には格付け本でも高い評価を得ていた店もあったようですが、一般の消費者が分からなくても当然といえる

でしょう。

そもそも料理というものは、素材を上手に加工する技でもあります。素材の新鮮さをそのまま生かす料理もありますが、すべてのレストランが産地の近くにあるわけではありません。むしろ素材の新鮮さに多少見劣りがしても、それをソースや火加減で補い、美味しく仕上げてこそプロの技なのではないでしょうか。

日本の高級レストランでは、〇〇産本マグロとか〇〇牛などと素材の産地を記載することが当然のようですが、海外の高級レストランでメニューに肉や魚などの産地が併記されていたことは私の記憶ではほとんどありません。産地などよりも料理そのものの味やレストランの雰囲気、サービスの中身で勝負といったところでしょう。

それなのになぜ日本では産地を明記するのでしょうか。その理由は消費者が産地にこだわるからです。何年か前に中国産のウナギから残留薬物が検出されたとき、日本の消費者はスーパーでウナギを買うとき産地かどうかを確かめるようになりました。一見するとこれは賢い行動のように見えます。でもよく考えてみてください。もし消費者が産地にこだわり、外国産というラベルが貼ってあるだけで買わないという行動をとれば、品質のいい外国産うなぎを消費者に届けようと努力している良心的な業者は日本から撤退することになるでしょう。

その一方で、何としても外国産のウナギを日本で

売ってしまいたいと考える業者は、日本産と偽って市場に出すようになるでしょう。つまり、消費者の産地にこだわる行動は、良心的な業者を締め出し、いかがわしい業者を招き寄せる結果にもなり得るのです。

このように考えれば、今回の食品偽装問題の根本的な原因が分かります。高級ホテルで出されるステーキは〇〇牛、チリソース炒めは芝エビと書かれていなければ納得しない、逆に、〇〇牛と銘打ってあればそれだけで安心、などといった行動を客がとれば、業者に偽装のインセンティブを与えることになります。なぜなら、業者は消費者の反応を前提として行動するからです。本来のグルメとは、味の見分けがつく本物の舌を持った人のことです。今回の偽装問題は、味の区別よりも産地やブランドにこだわりがちな日本の消費者の行動に原因があったともいえるのです。

思考停止にならないように

以上の2つの例から、世の中の現象を経済学的に説明することの意味がお分かりいただけましたでしょうか。なぜこんな理屈っぽく説明する必要があるのか、もっと単純に考えればいいじゃないかという声が聞こえてきそうです。

その答えとして、明治時代の思想家で慶應義塾の創始者でもある福沢諭吉の言葉を引用しておきたいと思います。以下、『学問のすすめ』からの一節です。

西洋の諺（ことわざ）に愚民の上に苛（から）き政府ありとはこの事なり。こは政府の苛きにあらざ、愚民の自ら招く災なり。愚民の上に苛き政府あれば、良民の上には良き政府あるの理（ことわり）なり。故に今、我日本国においてもこの人民ありてこの政治あるなり。仮に人民の徳義今日よりも衰えてなお無学文盲に沈むことあらば、政府の法も今一段嚴重になるべく、もしまた人民学問に志して物事の理を知り文明の風に赴（おもむ）くことあらば、政府の法もなおまた寛（かん）仁（にん）大（たい）度（ど）の場合に及ぶべし。

ここに書かれているのは、国民が学問をせず愚かなまましていると、政府は法律を厳しくして国民を管理するようになりますよ、でも国民がしっかりと学問に励んで賢くなれば政府は寛大になりますよ、ということですよ。自立するために学問をせよと福沢は言っているのです。

私は経済学的に考えることだけがすべて正しいとは思いません。テレビ番組で有名になったM・サnder教授のように、より一段高い哲学の観点からいろいろな問題を考えることも重要だと思っています。大切なことは私たちが思考停止にならないことです。このシリーズをお読みになった方が、身近な問題についてもそれをスルーするのではなく、立ち止まって深く考えてみようと思っていただけのようなったとすれば、それに勝る喜びはありません。

連載エッセイ | 経済学的思考のススメ

第4回

経済学的思考のススメ

「72の法則」

「72の法則」は、お金が2倍になる年数がすぐにわかる、便利な算式です。

例えば、年利18%でお金を借りた場合、「 $72 \div 18 = 4$ 」と計算することによって、約4年で、借りたお金（返すべきお金）は2倍になることがわかります。

日常生活において「金利」について敏感になることは非常に重要です（例：クレジットカードを利用する場合）。この法則を知ることによって、金利感覚を身につけ、日常生活に実際に役立てることができます。

金利の差は、長い期間で見ると、大きな金額の差に結びつきます。これは「利子にもまた利子がつく」という「複利」の効果によるものです。お金について考えるとき、複利の図を常に頭に描きましょう。

Q 「72の法則」とは何？

お金が2倍になる年数がすぐにわかる、便利な算式です。

例えば、以下のように使用します。

（例1）「年利3%でお金を運用したら、何年で元のお金が2倍になるかを知りたい」とき

$72 \div 3 = 24$ と計算すると → 「約24年で、元のお金は2倍になる」とわかる

（例2）「年利18%でお金を借りたら、何年で返すべきお金が2倍になるかを知りたい」とき

$72 \div 18 = 4$ と計算すると → 「約4年で、元のお金は2倍になる」とわかる

つまり、「 $72 \div \text{金利（年利）}$ 」を計算することによって、「元のお金が2倍になる年数」がわかるのです。

お金を「運用」する場合でも、お金を「借りる」場合でも、同じ方法で計算できます。

・この法則を式で表せば、

$$72 \div \text{金利} \div \text{お金が2倍になる年数}$$

となります。算出される答え（ここでは年数）は概算であり、完全に正確な数字ではありませんのでご注意ください（上の式で「=」ではなく「 \div 」（ほぼ等しい）を使っています）。

・この法則は、以下のように示すこともできます（上の式の形を変えただけで、同じものです）。

$$72 \div \text{年数} \div \text{お金が2倍になる金利}$$

すなわち、「 $72 \div \text{年数}$ 」を計算することによって、「元のお金が2倍になる金利（年利）」もわかるのです。

例えば、以下のように使用します。

（例3）「15年でお金を2倍にするためには、何%の金利で運用すればよいのかを知りたい」とき

$72 \div 15 = 4.8$ と計算すると → 「約4.8%で運用すればよい」とわかる

Q 何の役に立つの？

日常生活において、お金を借りたり、お金を運用したりする場合に、この法則を役立てることができます。

お金を借りる場合

- ・買い物をするために、お金を借りるケースを想定してみてください。
- ・現状、例えば消費者金融でお金を借りると、金利18%が通例です。この場合、左記の例2のとおり、18%でお金を借りると、返すべきお金は約4年で2倍になるなど、金利負担の大きさがよくわかります。
- ・また、クレジットカードを使う場合、1回(一括)払いの場合は金利はかかりません。2回払いでも金利がかからない先が大半です。しかし、3回以上の分割払いだと金利がかかり、回数が増えるにつれ金利は高くなります。クレジットカードで「リボルビング払い」(毎月一定額を返済するなどの方式)をする場合や、「キャッシング」(お金の引き出し)をする場合にも、分割払いと同程度以上の金利がかかります。一度、自分が持っているクレジットカードの金利について、確認してみましょう。

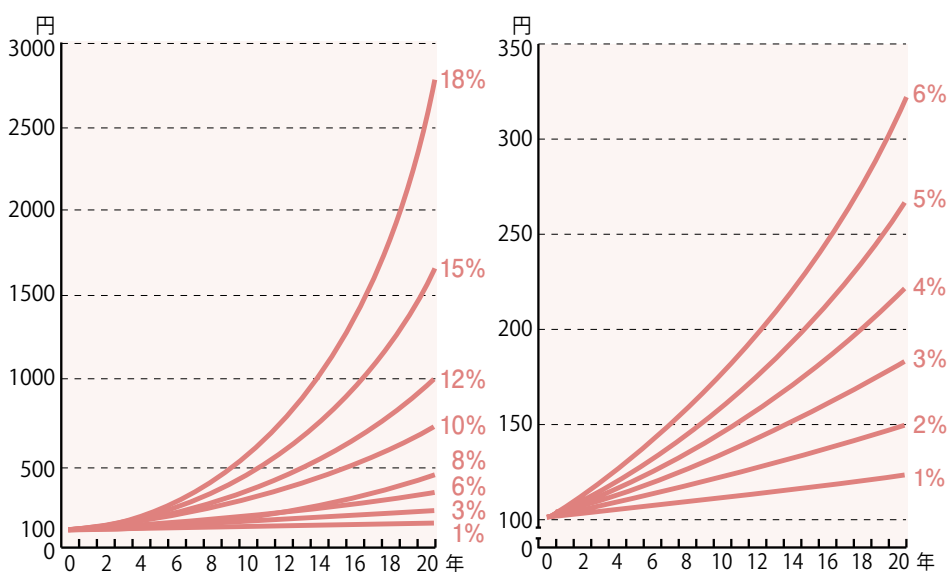
お金を運用する場合

- ・お金を「運用」する場合にも、金利(利回り)について敏感になってください。金利の差は、長い期間では、大きな金額の差に結びつきます。下図A・Bは、お金を借りる場合にも、お金を運用する場合にもあてはまるものです。
- ・お金をためる際、コツコツと少しずつでもためて、少しでも高い金利で、なるべく長い期間運用していくと、最終的には大きな差になります(下図B)。

複利の効果

- ・このように、お金を借りる場合も、運用する場合も、時間が経つにつれ、大きな差になっていくのは、「複利」の効果によるものです。
- ・「複利」とは、「利子にもまた利子がつく」というものです。例えば、100万円を、年利2%で運用した場合、1年後には102万円になります。さらにこれをもう1年、年利2%で運用した場合、「104万円」ではなく、「104万400円」となります。1年目についた利子の2万円に対しても、400円の利子がつくためです。
- ・金利に差がある場合、この複利の効果の違いが積み重なっていき、長い期間でみると非常に大きな金額の差に結びつきます。
- ・人類史上最高の物理学者とも評されるアインシュタインは、「人類の最大の発見は、複利である」との言葉を残したと言われています。お金の扱いについて考える際には、ぜひ下図を頭の中でイメージしてください。

複利のグラフ (お金(100円)の増え方)



図A 金利が1%から18%の場合

図B 金利が1%から6%の場合

わたしは ダマサレナイ!!

第24話 健康食品送りつけ詐欺

●監修 中谷 薫 (なかに・かおる)

横浜市消費生活総合センター／消費生活専門相談員

このコーナーで紹介するまんがは、実際に起きた事件をもとに、その「だましのシーン」を再現したものです。
なぜだまされてしまうのか？ここで再現する巧みな策略に、その秘密が隠されています。
「私だけは大丈夫!」
なんて甘く考えてはいませんか？
実はそう考える人こそ被害に遭いやすいのです。



**健康食品が突然家に送られてくる
急増する高齢者への送りつけ詐欺**

国民生活センターの報道発表(2013年5月・9月)によると、「以前申し込み頂いた健康食品を送りますと電話があり、申し込んでいないと断ったのに、強引に健康食品が送りつけられてきた」という相談は、2012年度は2011年度の5倍以上に急増し、さらに2013年度は9月10日までの集計で2012年度の同時期と比べて、なんと14・6倍にも急増しています。「あなたが申し込んだから送るのだ」と嘘を言い、強引に代金を支払わせる健康食品の送りつけ詐欺。被害に遭う人の大半は70歳代以上の高齢者で、女性が圧倒的です。過去に通信販売などで健康食品を買ったことのある高齢者が被害に遭ってしまふことも多くあります。また、認知症などにつけるケースもあるようです。

ポイント1
ある日突然電話がかかってくる

ある日突然、業者から「以前ご注文された健康食品が準備できたので送ります」と電話がかかってきます。身に覚えのないことなので「頼んでいない」というと、その人の名前・住所・生年月日などの個人情報を読み、「この情報はあなたから注文したからウチがこれだけの情報を知っているのだ。録音もしている」と、さも実際に聞いたような振る舞いをします。被害者は、覚えがないので「頼んでいない」と電話を切りますが、一方で、最近物忘れが多くなってきたのが気になっているので、「ひょっとして頼んだのかもしれない」と



少し不安になります。

ポイント2

断ったのに、強引に健康食品が送りつけられてくる

電話を切っても悪質業者は引き下がりません。宅配業者などを使い、代引きで、強引に健康食品を送りつけてきます。被害者は宅配業者に「頼んでいない」と言って受け取りを拒否し、配送業者は一旦健康食品を持ち帰ります。

しかし、宅配業者が悪質業者に「頼んでいないそうです」と連絡すると、悪質業者はささず被害者に電話し、「間違はなく3回分注文している。支払わないなら裁判にする。裁判費用も支払ってもらう」と脅迫します。被害者がひるむと、「特別に2回分はキャンセルしてやる。でも1回分は絶対に支払ってもらう」と迫ります。悪質業者に強く言われ、被害者は仕方なく1回分の受け取りを了解してしまします。その後、再び宅配業者が健康食品を配達してきたときには、被害者は結局お金を支払ってしまします。支払い方法は代引きがほとんどですが、最近では荷物に現金書留封筒や振込用紙が封入されており、それを使って支払うよう指示されるケースも増えているようです。

ポイント3

電話勧誘で承諾してしまった場合、クーリング・オフができる

「申し込んでいる」と業者に電話で言われ、仕方なく受け取りを承諾してしまった場合は、特定商取引法の電話勧誘販売に該当すると考えられます。特定商取引法では、断ったにもかかわらず再勧誘することは禁止されていますし、「〇月〇日に注文した商品ができてあ



この物語はフィクションです

たので送ります」と告げるなど、購入者の判断に影響をおよぼすこととなる重要なことについて嘘を言うこと（不实告知）も禁止されています。健康食品の送りつけ業者に押し切られ、断りきれずに承諾してしまったとしても、電話勧誘販売では、書面を受け取った日から8日間はクーリング・オフができます。頼んでいないのであれば、はっきり断り、商品は受け取らないことが大事ですが、もし、仕方なく承諾してしまった場合には、クーリング・オフをしましょう。クーリング・オフは期間内に書面で行わなければならないことは注意しましょう。

★今回ご紹介した詐欺は、判断力が衰えた高齢者などに嘘の説明をして、強引にお金を支払わせる詐欺です。

被害に遭う人のほとんどが高齢者です。周りの高齢者がこうしたトラブルに巻き込まれないよう、家族や地域の皆さんも日ごろから注意し、高齢者を見守りましょう。

こうした送りつけ詐欺でお困りの場合には、お近くの消費生活センターに相談しましょう。

「詳しい情報やご相談」

●国民生活センター報道発表

http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20130930_1.html (NO.13年9月30日)

http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20130523_1.html (NO.13年5月23日)

●東京くらしWEB

●相談は全国の消費生活センター

見てわかる 金融力調査

第4回

世代別の特徴

金融広報中央委員会では、2012年9月に「金融力調査」の結果を公表しました。この調査は、日本における18歳以上の個人のお金や金融に関する知識や行動の特色を把握するために実施したものです。当委員会では、調査結果を活かして、世の中の人々が必要としている金融知識の普及や金融教育の支援を行っていきたいと考えています。

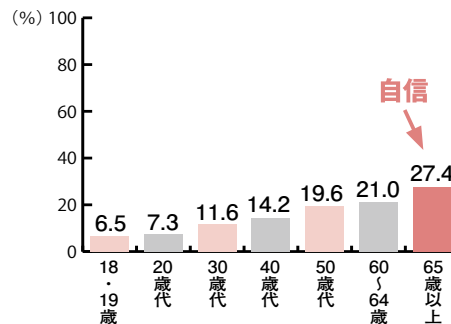
このコーナーでは、「金融力調査」の結果の一部を紹介し、エッセンスを分かりやすく説明します。

今回は、「世代別の特徴」についてです。高齢層（65歳以上）の特徴の一部をご紹介します。高齢層では、金融の知識や判断能力に自信のある人が、他の世代に比べ多くみられます。その一方で、暮らしやお金の管理への関心のない人が多く、また、金融に関する基礎的な知識（例：リスクとリターンの関係※）を理解している人は、他の世代に比べて少ないとの結果が出ています。

※リスクとリターンの間には、一般的に、①高いリターンを得ようとするリスクも高まる（ハイリスク・ハイリターン）、②リスクを低く抑えようとするリターンも低下する（ローリスク・ローリターン）という関係があります。「リスクなく高いリターンを得られる」といった「おいしい話」はありませんので、ご注意ください。

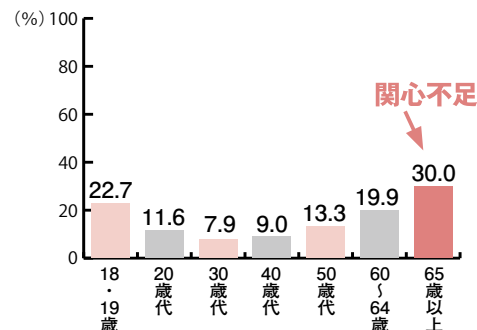
金融の知識・判断能力に関する自信

「自分の金融に関する知識や判断能力は十分高い」と感じている人の割合。



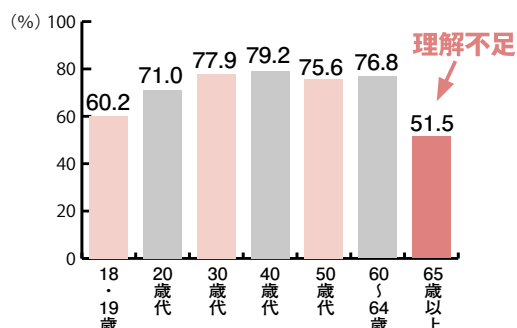
暮らしやお金の管理への関心のなさ

「暮らしやお金の管理に関する知識・情報に関心がない」と回答した人の割合。



リスクとリターンの関係の理解

「平均以上の高いリターンのある投資は、平均以上の高いリスクがある」ことを理解している人の割合。



読者の皆さんの実感と比べていかがでしょうか。

今回で「見てわかる金融力調査」は最終回となりますが、金融広報中央委員会では、各世代の特徴を踏まえながら、お金に関する知恵（金融リテラシー）の普及に取り組んでいきたいと考えています。

その四

文楽

「文楽」は浄瑠璃を語る太夫と三味線、人形が三位一体で演じられる人形劇で、歌舞伎や能・狂言と並ぶ日本の古典芸能の一つです。国指定の重要無形文化財であると同時に、ユネスコの無形文化遺産にも登録されています。世界に認められている文楽ですが、実際に劇場に足を運んだ経験のある方はあまり多くないかもしれません。今回は、文楽の基本知識と魅力についてお伝えしましょう。

文楽ってどんな芸能？

日本独自の伝統的な人形劇、それが文楽です。古くは「あやつり浄瑠璃」、あるいは「人形浄瑠璃」などと呼ばれ、「文楽」というのは人形劇を上演する大阪にあった劇場の名前でした。それがいつの間にか、現在のように人形劇そのものを指すようになったとされています。

文楽の舞台では、人形と人形を操る人形遣い、物語を語る太夫、伴奏をする三味線によってさまざまなドラマが演じられます。

太夫と三味線とで語られるドラマが「浄瑠璃」です。そのルーツは、室町時代中期ごろ（15世紀末）に、扇や鼓の拍子、琵琶などの伴奏で語られた浄瑠璃姫と牛

若丸との恋物語『浄瑠璃姫十二段草子』とされています。瑠璃姫を語る節回しが人気となり、別のさまざまな物語を語るようになっても「浄瑠璃節」と呼ばれるようになったそうです。そして16世紀ごろ、琉球から三線さんしんが伝来し、それを改良したとも言われる三味線が伴奏に使われるようになりました。

この浄瑠璃が大きく発展するのが江戸時代です。心中などの事件を近松門左衛門（1653～1724）が素早く舞台化した作品を竹本義太夫（1651～1714）が語り、あやつり人形で演じること大衆の人気を得ました。三味線の演奏とともに太夫が語るストーリーを「義太夫節」と呼ぶのはこのためです。こうして始まった人形浄瑠璃が、現在まで受け継がれてきたのです。



三業——太夫と三味線、人形遣い

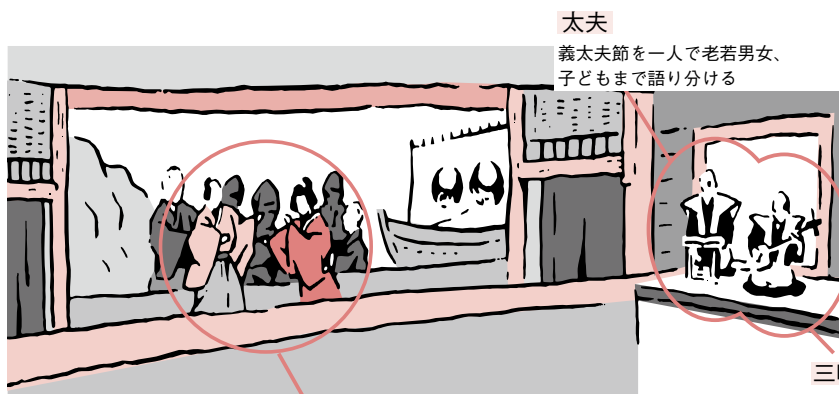
文楽では物語のストーリーを三味線の演奏に乗せ、太夫が語ります。物語の背景や、演じられる場面の情景、登場人物それぞれのセリフやそこに込められた喜怒哀楽など、三味線と呼吸を合わせ、太夫一人で語り分けます。また演目によっては複数の太夫で登場人物を語り分けることもあります。

一方、人形遣いは一人ではありません。人形を支え、首と人形の右手を操る「主遣い」、左手を操作する「左遣い」、そして足を動かす「足遣い」と、人形一体を三人の人形遣いが操るとい世界でも例を見ないものです。人形のしぐさや、首の傾きや眉の上下、目の表情などほんのわずかな動きによって、生身の人間以上に私たちの心情に訴えかけます。

この人形は、「かしら」と呼ばれる頭部や、衣裳がばらばらに保管され、公演の都度、役に合わせて準備されます。かしらにかつら（鬘）を付けて結い上げられ、衣裳・手足・胴・小道具などが揃えられます。着付けは、人形遣いが自ら行います。

このように文楽は、太夫と三味線と人形遣いの「三業」が、びつたりと息を合わせ、

舞台全景



太夫

義太夫節を一人で老若男女、子どもまで語り分ける

三味線

登場人物はもちろん動物の鳴き声や風雨など自然の音も表現する

人形 人形一体を三人で操ることが基本ですが一人で操るものもある

文楽の演目

物語をつむいでいくことで舞台が作られる、高度に発達した人形芸術なのです。

それでは文楽が演じる物語にはどんなものがあるのかみてみましょう。

文楽では、江戸時代以前の公家や武家の社会の出来事を演じた物語を「時代物」と呼び、江戸時代の町人社会の出来事を演じた物語を「世話物」と呼びます。

時代物の代表的な演目が「義経千本桜」「仮名手本忠臣蔵」「菅原伝授手習鑑」です。歌舞伎でも同じ演目がありますが、それらは文楽で評判をとった舞台が歌舞伎でも演じられたものです。

世話物の代表としては、近松門左衛門の「曽根崎心中」や「冥土の飛脚」など、当時のお金をめぐるトラブルと絡めて男と女の物語をドラマチックに描いたものが挙げられるでしょう。

人形の三人遣い



主遣い

10kg近い人形を支え、首と右手を操る

約84cmのところが人形の地面である「手摺り」となる

舞台下駄

人形のサイズに合わせていろいろな高さがある

左遣い

人形の左手と小道具を担当

足遣い

人形の両足と足音を担当

さらに最近では、シェイクスピアの「テンペスト」を翻案したり、著名な劇作家が「曽根崎心中」をもとに書き下ろした新作文楽なども上演されています。

文楽を観にいく

文楽は主に大阪にある国立文楽劇場、東京の国立劇場小劇場で定期的に公演があります。また、愛媛県の内子町にある内子座での年に一度の公演など地方公演も行われています。

さて、文楽を鑑賞する際に、太夫の語りが初心者に聞き取れるかどうかを心配する方もいらっしゃるかもしれません。そんな時は劇場で売られているパンフレットなどであらすじを確認しておくといでしょう。国立劇場であれば舞台左右端に太夫の語りの字幕が表示されるので安心ですし、同時解説のイヤホンガイドを利用することも可能です。

初心者向けのわかりやすい解説と著名な演目とをセットにした「鑑賞教室」も開かれているので、まずは入門をかねて鑑賞教室に足を運ぶのもオススメです。歌舞伎ファンの方なら同じ演目を見比べてみても、いろいろな発見があることでしょう。

ライフ&マネープラン

「キャリアアップ！資格取得」費用、自己啓発支援制度など

このコーナーでは、人生のさまざまな転機で役に立つ、生活設計におけるマネープランをご紹介します。仕事や家事で忙しい毎日を過ごされている皆さんも、時間をみつけて、将来を見据えたマネープランを検討してみてください。今回はキャリアアップに役立つ資格取得について調べてみましょう。さまざまな資格がありますが、資格取得に要する期間や費用はどれくらいで、またどのような支援制度があるのでしょうか。資格取得は自分への投資でもあります。人気の高い資格をチェックしながら、これからのキャリアアップを考えるきっかけにしてみませんか。

キャリアアップにつながる資格とは

習い事というのを連想するでしょうか。かつてはお茶やお花、ピアノやバイオリン、ペン習字といった、趣味を充実させるものを思い浮かべたのですが、最近は自分の仕事に役立つ、実務面でプラスになるような習い事に人気が集まっているようです。

同じ習い事でも学ぶ心構えが変わってきたのが、今も昔も人気の高い英会話です。昔は海外旅行や外国人とのコミュニケーションを楽しみたいといった趣味半分の人が多かったのですが、海外とのビジネス上のやり取りが増え、企業内の公用語を英語にする日本企業が出現するなどグローバル化の進展に伴い、実践的なビジネス英

会話の習得を志す人が増えています。このほかコンピュータ関連や簿記など、自らの仕事の幅を広げたり、キャリアアップを目指して資格取得にチャレンジする人は少なくありません。

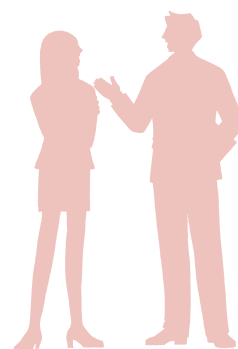
日本経済新聞社と日経HRがビジネスパーソンを対象に2012年11月に実施した「ビジネス資格・語学調査」では、ビジネスパーソンが今後取得したいと考えている資格は下記の通りとなりました。

職種別には、「経営企画」で中小企業診断士、「総務・人事」では社会保険労務士が、また、「営業・販売」「企画・調査・マーケティング」「研究・開発」の各職種では、英語テストが人気を集めました。

今後取得したい資格・検定ランキング

TOEICテスト(860点以上)	18.7%
TOEICテスト(730～860点未満)	18.5%
中小企業診断士	17.6%
日商簿記検定2級	14.7%
社会保険労務士	12.3%
宅地建物取引主任者(宅建)	11.6%
TOEICテスト(470～730点未満)	10.4%
ファイナンシャル・プランニング(FP)技能検定2級	10.3%
行政書士	9.3%
中国語検定	7.5%

出典：日本経済新聞社・日経HR「ビジネス資格・語学調査」(2013年1月発表)より



資格取得に必要な期間と費用 ―簿記検定を例に―

資格を取得するために必要な期間や費用、プロセスを、人気資格の簿記検定でみてみましょう。

簿記は、経理の実務に必要な会計知識だけでなく、財務諸表を読む力が要求され、企業経営を理解する上で大切な知識です。代表的な資格検定試験に「日商簿記検定」、商業高校を対象とした「全商簿記検定」、公益社団法人全国経理教育協会が主催する「全経簿記検定」などがあります。日商簿記は1級から4級まであり、簿記入門として、勘定科目の仕訳と複式簿記の理解が求められる4級から、公認会計士、税理士などの国家試験の登竜門といわれ、大学程度の商業簿記、工業簿記、原価計算、会計学の修得が必要な1級まで、それぞれレベルや合格者数が異なります。受験料は1級7500円、2級4500円、3級2500円、4級1600円です（平成25年度の場合）。

例えば簿記1・2級に合格した人に対する調査結果をみると、合格までに要した期間は1年未満が5割、1〜2年が3割となっているほか、要した費用は1万円未満が5割強、1〜3万円が2割強となっています（下図参照）。簿記1級や2級の場合には、専門学校やスクールへの進学、WEBやDVDを活用した通信講座での勉強が近道と言われています。スクールの受講料

は、コース内容にもよりますが、半年間で数万円は必要となることには留意しておきましょう。

学びの支援制度

さて資格取得にあたってぜひチェックしておきたいのが、支援制度です。

企業に属している人の場合、業務に必要な資格や免許の取得に対し金銭的な援助を行っている場合は少なくありません。直接業務に関連しなくとも、自己啓発のための資格取得をサポートしているケースもあります。例えば産労総合研究所が実施した「2013年度 教育研修費用の実態調査」によると、グローバル人材を育成するため、半数の企業が語学資格習得者への語学学習の費用援助や奨励金の支給をはじめ、外国語習得をサポートしているという結果でした。資格を取得したいと考えたら、勤め先の支援制度をチェックしてみることをお勧めします。

また、国の「教育訓練給付制度」もあります。これは、所定の条件を満たす雇用保険の一般被保険者（在職者）または離職者※1が、厚生労働大臣指定を受けている講座を修了した場合、10万円を上限に、受講生本人が支払った教育訓練経費の20%に相当する額※2がハローワークから支給される制度です。対象となる資格は、WEBデザインやコンピュータスキルなどの情報関係から英検、TOEIC、簿記などの事務関

連、調理師、美容師、看護師、大型自動車運転、電気工事士など実に幅広いラインナップです。

この制度を利用しようとする場合は、教育訓練給付金の受給資格があるかどうかや、受講を希望する講座が厚生労働大臣の指定を受けているかどうかを必ず事前に確認してください。

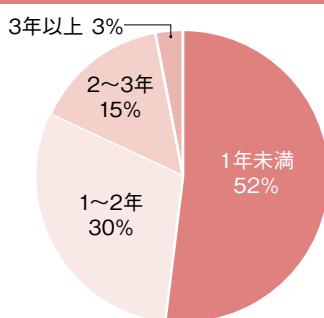
また、教育訓練の受講修了日の翌日から起算して1カ月以内に支給申請手続きを行わないと申請が受け付けられないので注意しましょう。

資格は自分の持つ能力を客観的に示すモノサシになると同時に、うまく生かせばキャリアアップなどプラスになります。資格があるからといって必ずしも就職や収入アップに結びつくわけではありません。資格取得だけを目標とするのではなく、ライフプランの中で資格取得をどのように位置づけるのかをしっかりと考えながら、自分自身の仕事や人生設計に役立てるようにしましょう。

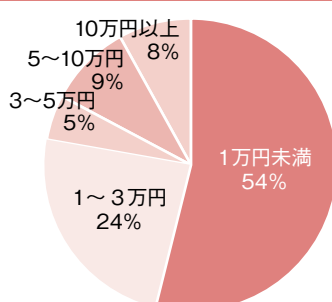
- ※1 雇用保険の一般被保険者である期間が通算して3年以上ある在職者（この制度を初めて利用する場合は1年以上）。離職者の場合は、離職日の翌日以降受講開始日までの期間が1年以内であること。
- ※2 4000円を超えない場合は支給されません。

▽簿記1・2級

勉強開始から合格までかかった年数は？



合格まで総額いくらかかりましたか？



出典：資格と仕事.net(株式会社リクルートライフスタイル)

金融教育の現場レポート

「金融教育」は、社会の中で生きる力を育むことを目的として行われる教育です。

このコーナーでは、金融教育の授業がどのように進められているか、教育現場に立つ先生や、授業を受ける生徒の姿をレポートします。

今回は、京都府にある京都教育大学附属桃山小学校・池田恭浩先生が実践している、小学校で実践可能な金融教育についてご紹介します。

仕事を考える前に

「お金」を考えるカリキュラムを

『「仕事」って何ですか?』『働いて、お金を稼ぐことですか?』『では、お金の役割って何ですか?』。池田先生の金融教育は児童たちとのこんなやりとりからスタートしました。

平成23年、小学校社会科3年生の学習単元「地域の生産や販売に携っている人々の働き」を学習するうえで、「お金の役割」を採り入れた独自のカリキュラムを作成しました。それは、「仕事について考える」前に、「仕事とは何のためにするのか」「仕事とつながりのあるお金の役割とは?」という金融教育の基礎を捉えてもらいたいと考えたからです。

池田先生

は30歳で教職に就く前は民間企業で働いていました。社会で「お金を稼ぐための」仕事の大変さ」を痛感し、企業を辞めた後の無職のときには「収入のない恐怖」も味わいました。「大人になれば、こんなにも『お金は大事』と実感するにもかかわらず、『お金とは何か』が学



京都府
京都教育大学附属桃山小学校
池田恭浩教諭

表1 「お金の三つの役割」※の実践内容

単元名「見つけたよ、まちの人たちの仕事」	
指導計画（実施） 「見つけたよ、まちの人たちの仕事」（全 34 時間）	
第1次 「仕事」って何ですか？（11 時間）	
・「仕事」とは、何のために、どのようなことをするものなのかを考える	（1 時間）
・「仕事」とつながりのあるお金の役割を考える	（1 時間）
・お金のない時代はどのようにして欲しい物を手に入れていたのか考える	（1 時間）
・物々交換の問題点を考える	（2 時間）
・物々交換を円滑に行うための物（みんなが欲しがった物）について考える	（2 時間）
・交換するための物としての石や貝の問題点と金貨・銀貨・銅貨のいいところ、問題点を考える	（1 時間）
・今のお金について考える	（2 時間）
・これまでの振り返りをして、「仕事」とお金のつながりを確認する	（1 時間）
第2次 「つくる仕事」について考えよう！（13 時間）	
第3次 「売る仕事」について考えよう！（10 時間）	

※第9回金融教育に関する小論文・実践報告コンクール受賞作品

校教育の中ではあまり扱われていないことを、何とかしたいという思いがありました」という池田先生。現任校に赴任して3年目に、京都教育大学の大学院で学ぶチャンスを得て、経済学の教授に師事。生活に身近な「お金」に焦点を当てた、新しいカリキュラムを構築することをテーマとして、研究に取り組みしました。

「お金の三つの役割」を学ぶ実践授業

モデルのない新しい授業だったため、池田先生にとっても実践前は3年生の児童がどこまで理解できるかは未知数でした。「見つけたよ、まちの人たちの仕事」という単元の最初（第1次）に、独自のカリキュラム「仕事」って何ですか？」を加え、お金には「交換を助ける役割」「価値を計る役割」「価値を貯める役割」の三つの役割があることを導いていきました。

授業は子どもたちを主体として、それぞれの興味・関心度合いや理解力に合わせたため、なかなか予定通りに進みませんでした。その結果、最初は4時間で終了するはずの第1次のカリキュラムは11時間に及んだと言います。

（表1）

児童の興味がふくらむ「物々交換」と金融教育の実践

11時間にも授業が長引いた大きな原因は、「お金のない時代」における「物々交換」を理解するところで、子どもたちの純粋な発想力が池田先生の想像以上に展開していったためです。

自給自足の時代から、物々交換が始まって人々が分業（＝仕事）を行うようになり、交換するためのツールとして価値を分かりやすくするためにお金が生まれたという流れを、子どもたちは正しく理解できました。そして、「宝石とリング、どちらの方に価値があるのか？」という物々交換の価値にまで発想は及びました。

また、物々交換から派生して、モノを運ぶためには「入れ物がある」「運ぶ道具も必要」「道路もいる」などの意見が子どもたちから出ました。そうした役割分担から仕事が生まれてきたことなどにも想像力は広がりました。

「食べ物十分でない時代だったら、モノの価値をどう捉えるのか」というところから、子どもたちの純粋な発想は広がっていきました。教師がうまく導いてあげること、子どもたちがもともも持っていた価値観の原石を磨くこ



スーパーでの買い物の様子



ドキドキしながらレジに並びました



おつりとレシートも受け取ります



真剣にお昼ご飯を選んでいきます



自分で買ったお昼ご飯はおいしかったよ！

とができたと思います」と池田先生は話します。

小学校での 金融教育の可能性

池田先生はその翌年、2年生の児童を担当し、生活科で「買い物体験」の授業を行いました。そこで、子どもたちが「買い物をするときの判断基準」を分析したところ、2年生では一人で買い物をしたことのある児童が少なく、まだ明確な判断基準を持っていないことがほとんどだということが分かりました。

そのため、池田先生は、お金をテーマに教材化するのであれば、「交換の概念」が理解できて、社会科で仕事に

ついて学ぶ3年生が、「お金の生涯教育のスタート地点」としてふさわしいのではないかと考えるに至りました。

ちなみに、平成25年度は4年生で前述の「お金の三つの役割」を4時間で実践することが可能だったということです。

概念を身につける— これからの金融教育への挑戦

池田先生は、小学生のうちに「お金のはたらき」を学び、お金を稼ぐテクニックではなく、お金の本質を捉える知識と、個々の将来の価値観にもつながる概念をきちんと身に付けてほしいと考えています（表2）。

例えば、4年生の社会科は公共事

業について学んでおり、「消防士さんは誰からお給料を貰っているか？」と尋ねると「署長さん？」という答えが返ってきたそうです。池田先生は、「社会を考えるときに、お金抜きに考えるのはおかしいと思うのです。同じ消防署について学んだ際、『わたしたちの安全な暮らしを守るためには何が必要か？』と問いかけたときに、『お金が必要や』と言った子どももいます。消防士さんのお給料は税金で賄っていることを教えた方が、実社会に迫って考えられるし、リアリティがあります。ほかに、京都市の1年間のゴミ処理費用一覧を子どもたちに示してゴミ問題を考えた授業も、『捨てるものにもお金がかかっている』ということに気づ



いた子どもたちは興味津々でした。『お金で説明する授業』は子どもにも理解しやすいため、今後も新たな授業を考えてみたい」と池田先生は話します。

『小学校でお金、お金というのは相應しくない』という声もありますが、私の授業の最大の狙いは、学ぶことにより『お金に囚われてほしくない』ということです。世の中が、交換のための分業で成り立っていると分かれば、子どもたちは『人がいい思いをするのはあり得ない』『自分も社会で役立つ何かを与えたい』と考えられると思います。そして、お金は交換のための手段であるという本質的な概念が身につけば、『将来経済活動をするとき、価値ある交換ができる人間になる』と考えられるようになってくれると思っています。

確かな概念から本質を見極める力を育む。池田先生は今後もそんな金融教育に挑戦していきます。

表2 池田先生の「社会科でお金を採り入れて学習すべきこと」

学年	主に学習すべきこと	主に活用するお金の役割	主に学習する概念	お金を採り入れる主な学習内容
第3学年	お金の流れ	交換を助ける	買う 売る 仕事 (費用)	生産に関する仕事(農家・工場) 販売に関する仕事(小売店・ スーパーマーケットなど)
第4学年	様々なことにかかわるお金	価値を計る	費用 (税金)	飲料水・電気・ガス 廃棄物の処理(ごみ・下水) 消防署・警察署
第5学年	ねだんに含まれるお金	価値を計る 価値を貯める	価格 費用 利益	農業(稲作・野菜・果物・畜産) 水産業 工業(金属・機械・石油化学) 情報産業(放送・新聞)
第6学年	みんなのために使うお金	交換を助ける 価値を計る 価値を貯める	税金	租税の役割

「お金の役割」を考える金融教育の実践

京都府
京都教育大学附属桃山小学校 池田恭浩教諭

値段の

むかし

【第4回】

いま

映画

映画は私たちが別世界に連れて行ってくれる娯楽のひとつです。昔は人気映画ともなると長蛇の列が映画館をぐるりと囲んだものですが、最近ではパソコンや携帯電話で予約ができるようになるなど、便利に楽しめるようになりました。今回は往年のヒット作を懐かしみながら、映画料金の変遷についてみてみましょう。

入場者が10億人を超えていた 日本映画の黄金時代

映画は今からおよそ120年前、1895年にパリで、リュミエール兄弟がシネマトグラフで試写を行ったことが始まりといわれています。初期は音声のないサイレント映画で、日本では「活

動写真」とも呼ばれ弁士がストーリーを解説していましたが、1930年代には音声がついた「トーキー映画」が主流となりました。

日本映画の黄金時代と呼ばれるのが1950～60年代にかけてです。黒澤明や木下恵介、衣笠貞之助らが海外の映画賞を次々に受賞し、観客動員数が年間10億人を超えていました。当時、一年間に邦画だけでも400～500本以上の映画が製作され、7000館もの映画館で公開されました。テレビがまだ普及していないころ、映画は主要な娯楽だったのです。

このころ公開された主な作品は、「浮雲」「点と線」「独立愚連隊」。そのほかにも「ゴジラ」などの怪獣映画も数多く製作されました。また、洋画では「三つ数えろ」「ジャイアンツ」「王様と私」などのアメリカ映画のほか、「灰とダイヤモンド」「ポーランド映画」などもヒットしました。

日本映画製作者連盟の資料によると、当時の映画の平均入場料は1958年で64円、1960年が72円。アイスクリームが10円くらいの時代です。だから今と比べて相当割安感があったのではないのでしょうか。

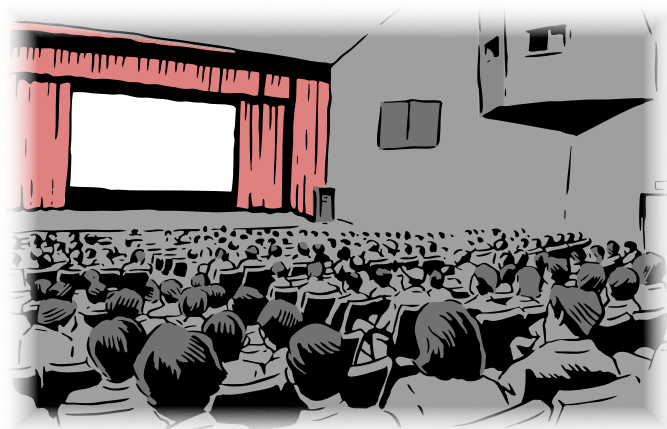
ハリウッド映画全盛時代

こうして隆盛を誇った映画も、70年代を迎えるころには下降線へ。上映スク

リーンの数は68年に3814と4000を割り込み、79年には2374と右肩下がりが続けます。一方、興行収入は上昇を続け70年代中ごろには1000億円を突破します。これは、入場者数が減少する一方で、入場料金が上昇したためです。50年代までは60円程度であった料金が、62年には115円、65年には200円台に、そして70年代に入ると300円台と年々上昇し、79年にはついに958円まで上昇。25年の間に約15倍になりました。ロードショーを封切る映画館とは別に、数カ月経ってから、ロードショーの半額以下の料金で見ることができるよう名画座が人気を集めたのもこの時代です。

ところで70年代にはハリウッド映画の大ヒット作品が次々と公開されました。「タワーリング・インフェルノ」「ゴッドファーザー」「ジョーズシリーズ」「ロッキーマン」「ジュラシックパーク」など、今でも語り継がれるエンターテインメント作品が目白押し。SF超大作「スターウォーズ」「未知との遭遇」の大ヒットもこのころです。一方邦画は「トラック野郎」「砂の器」「犬神家の一族」「八甲田山」「人間の証明」などシリアスな人間ドラマもヒットしています。

しかし80年代には、映画料金が1000円を突破する一方、スクリーン数が徐々に減り、89年にはついに2000を割り込みます。興行収入も83年をピークに、一時下降傾向となります。



かつては映画を楽しむには映画館に足を運ぶ必要がありましたが、80年代になって、ビデオデッキが普及し映画のビデオをレンタルして自宅で楽しむことが一般的になったこと、さらに、衛星放送やケーブルテレビなど多チャンネル化が進み、テレビで放映される映画が増え、ソファに横たわりながら映画を楽しむ「カウチポテト」スタイルが登場してきたこと、さらに映画以外にも楽しめるレジャーが増えたことなどが、スクリーン数・興行収入の減少の背景といえます。

この80年代にヒットした作品は「スターウォーズシリーズ」「地獄の黙示録」



「インディージョーンズシリーズ」「ロッキーマン」「ランボーシリーズ」「バックトゥザフューチャーシリーズ」「トップガン」「ダイハード」「ゴーストバスターズシリーズ」「影武者」「二百三高地」などがあります。シリーズ化された洋画のヒット作品が目立ちます。

90年代も、洋画のシリーズものがヒットを続けますが、邦画では70年代末から人気が高まってきた宮崎アニメが上位の常連となっていくます。「タイタニック」「もののけ姫」「踊る大捜査線」「ジュラシックパーク」など、配給収入が50～150億円を超えるメガヒット作品が登場しました。

90年代の平均入場料金は1100～1200円台ですが、スクリーン数の減

少傾向に歯止めがかかり、2000年代は逆に増加していきます。

映画の楽しみ方の変化

映画館の数が上昇に転じたきっかけとなったのが、通称「シネコン」の登場です。シネコンとは、郊外のショッピングモールや、駅周辺、繁華街の大型店舗などに併設された、5～10程度の複数のスクリーンを持つ複合映画館（シネマコンプレックス）のことです。作品のヒット状況に応じて上映するスクリーン数が決まるため、映画館は効率的な運営ができる一方、観客はヒット作品に以前のように長時間並んで待たなくてもすみ、しかも多くの作品から映画を

選べます。こうした利便性の向上から、一時期1734まで減ったスクリーン数は2000年代に入ってから増え続け、2006年には36年ぶりに3000を超えるまでになりました。

この拡大を支えた大ヒット作品が「ハリポッターシリーズ」「パイレーツ・オブ・カリビアンシリーズ」「アバター」「ボケッットモンスターシリーズ」「千と千尋の神隠し」といった映画です。

スクリーン数が拡大したことから、大作だけでなく小品で良質な佳作も数多く上映されるようになりました。実際、これまで年間500～700本くらいだった映画の公開本数が、2013年にはついに1000本を超えています。

ところでシネコンでのチケットは基本的にすべて座席指定です。当日窓口で買う以外にも、インターネットで事前に予約を入れておけば行列に並ぶ必要はありません。またチケットの価格も、以前からあった映画の日や、シルバー料金ほかに、夫婦割引、レディースデー、深夜時間割引など、映画館で独自の割引を用意しているため、事前に調べておくことをお勧めします。

自宅のテレビではなく、映画館の大型スクリーンで楽しむ映画はまた格別。ゴールデンウィークには映画に出かけてみてはいかがでしょうか。

参考資料…日本映画産業統計（JEP）、「映画館と観客の文化史」（中央公論新社）など

コラム

映画とゴールデンウィーク～呼び名の登場

4月の終わりと5月上旬にかけての大型連休、通称ゴールデンウィーク。

この呼び名は1951年のこの時期に公開された邦画「自由学校」が大ヒットしたことにあやかって、映画会社が宣伝のために名づけたものが一般に広まったという説があります。当時はこの時期を「黄金週間」と呼

んでいましたが、ラジオ番組で高い聴取率の時間帯を「ゴールデンタイム」と指すことから、ゴールデンウィークとなったとか。

諸々の俗説もあり、ゴールドラッシュ時代、春先のこの時期になると砂金を堀りに人々が出かけてしまい、街に人がいなくなったからといった説もあるようです。

都道府県金融広報委員会 事務局員の活動紹介

「お金との付き合い方」 教えます！

静岡県金融広報委員会

竹下 陽子

当委員会では、小さいころからの金銭教育の重要性が増している状況を踏まえ、数年前から児童・生徒・学生向けの「おかねの講座」を積極的に展開しています。

その一環として、対象者層別（小学生・中学生・高校生・大学生）

の具体的なテーマ例と実際の講座の風景写真を掲載した親しみやすいチラシを作成し、市町の担当部署に配付するなど、地道にPR活動を行っています。

この結果、小学生の児童クラブから多数の講座依頼を頂戴するようになったほか、最近では、特別支援学校から講師派遣依頼をいただくケースも増えています。

一方、活動の中心を担っていたいている金融広報アドバイザーの方々とは、定期的に意見交換の場

を設け、成功事例や留意点について情報共有を図るなど、レベルアップに取り組んでいます。また、対象者のレベルに合わせた資料やツールの作成にも努めています。

こうした取り組みもあって、小学生の受講者からは「お金は使ったらなくなることがわかった」「おこづかい帳をつけながら、お金の使い方を勉強したい」といった感想が数多く寄せられています。

今後も、お金との上手な付き合い方を多くの皆様に学んでいただ

金融経済講座の 集客作戦！

宮崎県金融広報委員会

黒木 真由美

当委員会では、「金融知識の普及」の一環として、「暮らしに役立つ金融経済講座」を毎年度（二～五回）開催しています。今年度は、暮らしに身近なお金の情報」を主要テーマに、当委員会所属の金融広報アドバイザーの方々に講師を務めていた

だきました。

これまででは、PR不足のせいもあってか、参加者は定員に程遠い状況でした。今年度は、この状況を打開すべく、PR力向上のため、次の三つの作戦に取り組みました。

① 広告用チラシの刷新。平面的なチラシから講座内容に興味をもってもらえるようビジュアルに訴えるチラシに全面改訂。

② 従来の新聞広告だけでなく、新たに地元のコミュニティ紙にも広告掲載を依頼。

③ テーマに合わせ開催時期を設定。例えば、税金に関する講座は、確定申告前の十一月に開催、家計簿記帳に関する講座は、新年から始めやすいよう十二月に開催など。

こうした取り組みが実を結び、参加申込みをお断りしなければならぬ講座までできるようになりました。また、講座終了後に実施しているアンケートから、「役に立った」「もっと聞きたかった」という嬉しい回答も増えてきました。

今後も、アンケートの結果を参

けるよう、当委員会の活動を積極的に展開していきたいと思ひます。



金融広報アドバイザー研修会の模様(左から2番目が竹下さん)

考にするとともに、日ごろからアンテナを高くし、金融経済動向、法改正などの情報の収集に努め、宮崎県民の方々に「暮らしに身近なお金の情報」を中立・公正な立場から届けることに励んで参りたいと思ひます。



金融広報アドバイザーとは、金融広報委員会からの委嘱を受け、各地において暮らしに身近な金融経済等に関する勉強会の講師を務めたり、生活設計の指導や金融・金銭教育などを行う金融広報活動の第一線指導者です。

金融広報 アドバイザーの 紹介

知らないものは『おことわり』を 身近な消費生活を支えるプロ

黒川さんは年間約1000件の消費生活相談に携わる消費生活問題のプロ。地域に根ざし、そこから得た消費者問題に関する情報は誰よりも新しいもので、大切な『情報のお届け人』の役割を担っています。

* * *

黒川さんは、その豊富な経験をもとに対象に合わせたテーマを選び、講演を行っています。卒業を間近に控えた高校生には契約問題やクレジットカードについて。大学生にはマルチ商法や消費者金融の話。子育て中の主婦には内職・モニター商法、社会人には通信販売や多重債務、そして高齢者には訪問販売や電話勧誘販売など、世代を意識した消費生活問題を取り上げています。

講演中に「8万円の物干を売りつけられた」「庭木の剪定で高額な料金を請求された」など、会場から次々と事例が飛び出し、「うちにも来た!」



専業主婦時代、「なにか社会に役に立つ仕事がしたい」と考え、消費生活アドバイザーと消費生活専門相談員の資格を取得。平成13年より、消費生活センターの相談員、同17年から金融広報アドバイザーとして活躍。現在も平日は相談員として市民の消費生活相談業務に携わるとともに、平日夜間や土日には、金融広報アドバイザーとして活動中。中高生から主婦、高齢者まで幅広い層を対象に、身近な消費生活問題をテーマにした講演活動を行っている。

黒川さんが、最近注目し

ているのは特殊詐欺の中でも「母さん助けて詐欺」などのいわゆる振り込め詐欺です。2013年は全国で約259億円、福岡県内でも2012年は約10億円の被害がありました。しかも、「高齢者は『家族に知られたくない』と思ってしまいう人が少なくありません。結果的に泣き寝入りすることが多いので、報告されているのは氷山の一角だと思います」。年々被害が増えている現状に対しては、「高齢者に情報が届く仕組みや見守る体制が重要」と考えています。

また、新たに生み出された悪質商法については、法律による規制が追いつかない状態になることもあります。そうした悪質商法に対しては、「知ることと相談することが大切」と

福岡県金融広報委員会
金融広報アドバイザー

黒川尚子

黒川さんは強調します。さらに、押し買いの被害を受けて、訪問購入が特定商取引法の規制対象となったように、「みんなが情報を出すことで法律が変わっていくこともあること」を、黒川さんは訴え続けていきたいと考えています。

また、講演会では、「契約させられました」「断りきれません」「上手な断り方を教えてほしい」という人が多いことに驚くそうです。売り手側が意図して心理的に断りにくくしているとはいえ、「契約は双方の合意にもとづいて行われるもの」という基本的な認識の低さを懸念しています。「考えてみると、私たちは契約について正しく教わる機会があまりありません。日本人は『おもてなし』が上手でも『おことわり』が下手。この『おことわり』の意識を今後は浸透させていきたいですね」と話しています。

第4回 あなたの家計を調べてみよう

くらしに関わる金融情報を幅広くお伝えする「知るぽると」ホームページ。このコーナーでは、そんな「知るぽると」ホームページについて、“実はこんなことも…”というトピックにクローズアップして、使い方や活用方法をご紹介します。今回のテーマは“あなたの家計を調べてみよう”。「知るぽると」ホームページのお役立ちツールをご紹介します。では、まずはこんな会話から…

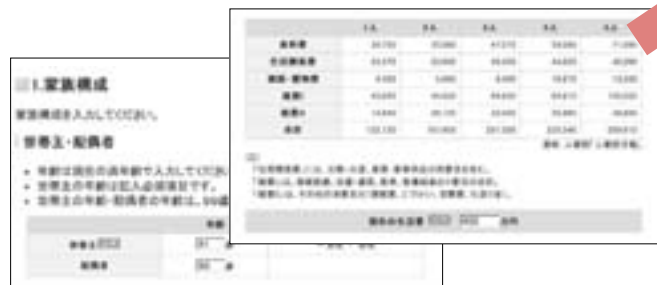
(長女・一海) お父さん、何してるの？
(父・千太郎) ああ、そろそろわが家も建て替えたいなって、考えていたんだ。
(一海) お部屋が新しくなるのね！ いますぐ建て替えちゃえばいいじゃない？
(千太郎) そう簡単にはいかないさ。ほら、この「生活設計診断」の結果を見てごらん。これから先、こんなにお金が必要になるんだよ。
(一海) ほんとうだ。すごい金額ね。どうしてこんなにお金がかかるのかしら？
(千太郎) 人生にはある程度まとまったお金が必要になる時期や場面があるものさ。もう少し詳しくみてみようか。たとえば、一海はいま高校2年生だね。再来年には大学に進学だ。
(一海) そうしたら、入学金や授業料がかかるのね。…その前に受験があるけど。
(千太郎) そうだね、子育てや教育にはやはりお金が必要なんだ。そしていずれは一海も社会に出て、〈言いづらそうに〉け、結婚も…。
(一海) まだまだ先の話にきこえるけど…。
(千太郎) まだまだ先とはいっても、いざその時になってお金なくて困ったり、たとえば結婚式を諦めたりするなんて、悲しいだろう？
(一海) 確かにそうね。でも、ずつと先までお金の出入りを計算するなんて、お父さんすごいな。
(千太郎) ははは。そこは「知るぽると」ホームページの「生活設計診断」におまかせだ。その分、お父さんは計画と準備をしつかりするのさ。一海もこの先の計画をしつかり立てなさい。
(一海) そうね、来年はハワイ、再来年はニューヨーク、3年後はヨーロッパ一周かな？
(千太郎) か、一海！？

準備はよろしくね
お父さん。



「生活設計診断」では

お手軽、簡単に将来の家計を見通すことができます。必ず入力して頂く項目は、「世帯主の年齢」と「年間生活費」だけ。あとは、収入、支出、結婚、出産、退職…などなど、ご自身で将来について考えていることを入力して、「診断」ボタンを押すと…将来の暮らし向きが天気予報の形式で表示されるほか、収入・支出の推移などを表やグラフで見ることができます。



※これらは、現行の制度や統計データなどを前提に計算する、あくまでもシミュレーション(模擬計算)です。みなさまの生活設計の手掛かりとしてご活用ください。

■今後の知るぽるとホームページは…

くらしに役立つ身近なお金の知恵・知識の「港：Porto」「入り口」となるよう、進化を続けていきたいと考えています。ご意見・ご感想などございましたら、お寄せいただければ幸いです。

スマホなら下のQRコードから



知るぽるとホームページは…

知るぽると

検索

<http://www.shiruporto.jp/>

都道府県金融広報委員会一覧

委員会名	郵便番号	住所	電話番号
北海道金融広報委員会	〒060-0001	札幌市中央区北1条西6-1-1	011(241)5314
青森県金融広報委員会	〒030-8570	青森市長島1-1-1	017(734)9209
岩手県金融広報委員会	〒020-0021	盛岡市中央通1-2-3	019(624)3622
宮城県金融広報委員会	〒980-8570	仙台市青葉区本町3-8-1	022(211)2523
秋田県金融広報委員会	〒010-0921	秋田市大町2-3-35	018(824)7814
山形県金融広報委員会	〒990-8570	山形市松波2-8-1	023(630)3237
福島県金融広報委員会	〒960-8614	福島市本町6-24	024(521)6355
茨城県金融広報委員会	〒310-8639	水戸市南町2-5-5	029(224)2734
栃木県金融広報委員会	〒320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028(623)2151
群馬県金融広報委員会	〒371-8570	前橋市大手町1-1-1	027(226)2273
埼玉県金融広報委員会	〒333-0844	川口市上青木3-12-18 SKIPシティ A1 街区2F	048(261)0995
千葉県金融広報委員会	〒260-8667	千葉市中央区市場町1-1	043(225)7141
東京都金融広報委員会	〒103-8660	中央区日本橋本石町2-1-1	03(3277)3788
神奈川県金融広報委員会	〒221-0835	横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2	050(7506)1128
山梨県金融広報委員会	〒400-0032	甲府市中央1-11-31	055(227)2419
長野県金融広報委員会	〒380-0936	長野市岡田178-8	026(227)1296
新潟県金融広報委員会	〒951-8622	新潟市中央区寄居町344	025(223)8414
富山県金融広報委員会	〒930-0046	富山市堤町通り1-2-26	076(424)4471
石川県金融広報委員会	〒920-8678	金沢市香林坊2-3-28	076(223)9519
福井県金融広報委員会	〒910-8532	福井市順化1-1-1	0776(22)4495
岐阜県金融広報委員会	〒500-8384	岐阜市数田南5-14-53 ふれあい福寿会館1棟5階	058(213)9257
静岡県金融広報委員会	〒420-8720	静岡市葵区金座町26-1	054(273)4112
愛知県金融広報委員会	〒460-8501	名古屋市中区三の丸3-1-2	052(954)6166
三重県金融広報委員会	〒514-0004	津市栄町1-954 三重県栄町庁舎3階	059(246)9002
滋賀県金融広報委員会	〒520-8577	大津市京町4-1-1	077(528)3412
京都府金融広報委員会	〒604-0924	京都市中京区河原町通二条下ル 一之船入町535	075(212)5193
大阪府金融広報委員会	〒530-8660	大阪市北区中之島2-1-45	06(6206)7748
兵庫県金融広報委員会	〒650-0034	神戸市中央区京町81	078(334)1129
奈良県金融広報委員会	〒630-8213	奈良市登大路町10-1	0742(27)5454
和歌山県金融広報委員会	〒640-8319	和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛8階	073(426)0298
鳥取県金融広報委員会	〒680-8570	鳥取市東町1-220	0857(26)7160
島根県金融広報委員会	〒690-8553	松江市母衣町55-3	0852(32)1509
岡山県金融広報委員会	〒700-8707	岡山市北区丸の内1-6-1	086(227)5128
広島県金融広報委員会	〒730-0011	広島市中区基町8-17	082(227)4268
山口県金融広報委員会	〒753-8501	山口市滝町1-1	083(933)2608
徳島県金融広報委員会	〒770-8570	徳島市万代町1-1	088(621)2258
香川県金融広報委員会	〒760-0023	高松市寿町2-1-6	087(825)1104
愛媛県金融広報委員会	〒790-0003	松山市三番町4-10-2	089(933)6308
高知県金融広報委員会	〒780-0870	高知市本町3-3-43	088(822)0114
福岡県金融広報委員会	〒810-0001	福岡市中央区天神4-2-1	092(725)5518
佐賀県金融広報委員会	〒840-0815	佐賀市天神三丁目2-11 アバンセ3階	0952(25)7059
長崎県金融広報委員会	〒850-8645	長崎市炉粕町32	095(820)6112
熊本県金融広報委員会	〒862-8570	熊本市中央区水前寺6-18-1	096(383)2323
大分県金融広報委員会	〒870-0023	大分市長浜町2-13-20	097(533)9116
宮崎県金融広報委員会	〒880-0805	宮崎市橘通東4-3-5	0985(23)6241
鹿児島県金融広報委員会	〒890-8577	鹿児島市鴨池新町10-1	099(286)2544
沖縄県金融広報委員会	〒900-8570	那覇市泉崎1-2-2	098(866)2187

くらし塾 vol.28
さんゆう塾

平成26年4月発行

- 編集・発行
金融広報中央委員会
- 編集協力
廣告社株式会社

©金融広報中央委員会 禁無断転載

編集 後記

春を迎え、新しい環境で生活をスタートさせる方もいらっしゃると思います。今号のインタビューでは、オリンピックメダリストの山本博さんに、努力をすることの大切さについてお話いただきました。また、「くらしの金融知識」では、家計の見直しについて取り上げました。皆さまの新生活に役立つヒントとなれば幸いです。

*本誌は全国の金融広報委員会等でお配りしています。個人の方の定期購読はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。

*なお、既刊号全号をPDFファイル形式で「知るぽると」ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。

<http://www.shiruporuto.jp/about/kurashijuku/>

中学生・高校生・教育関係者を対象とする

作文・小論文コンクールの審査結果

金融広報中央委員会では、中学生や高校生に金融・経済への関心を高めていただくこと、また教育関係者の方々の間でこれからの時代に求められる金融教育のあり方について議論を深めていただくことを目的として、毎年、作文・小論文コンクールを実施しています。厳正な審査の結果、今年度は以下の方々が上位に入選されました。全入賞者の氏名等および上位入賞作品は、知るぽるとホームページ（<http://www.shiruporuto.jp/>）でご覧いただけます。

■ 第46回「おかねの作文」コンクール 特選



応募総数：3,754 編

金融担当大臣賞	温故知新を目指して 平田 ころろさん（沖縄県 石垣市立石垣第二中学校 3年）
文部科学大臣賞	お金のありがたさ 徳重 優花さん（福岡県 川崎町立川崎中学校 3年）
日本銀行総裁賞	我が家の経済学 牛嶋 友誠さん（東京都 筑波大学附属中学校 1年）
日本PTA全国協議会会長賞	銀色のペットボトル 大山 農さん（鹿児島県 ラ・サール中学校 2年）
金融広報中央委員会会長賞	留学と私 長谷川 楼奈さん（東京都 東京都立大泉高等学校附属中学校 3年）

■ 第11回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール 特選



応募総数：2,234 編

金融担当大臣賞	お小遣い帳のススメ 小山 百合香さん（東京都 お茶の水女子大学附属高等学校 1年）
文部科学大臣賞	価値を決める 小林 琴衣さん（東京都 中央大学高等学校 3年）
日本銀行総裁賞	文化祭を通して学んだこと 岩淵 麗さん（兵庫県 西宮市立西宮高等学校 1年）
全国公民科・社会科教育研究会会長賞	消費活動とメディア 岩田 美咲さん（大分県 大分東明高等学校 2年）
金融広報中央委員会会長賞	データの価値 鈴木 颯太さん（岐阜県 岐阜県立大垣商業高等学校 2年）

■ 第10回 金融教育に関する小論文・実践報告コンクール 特賞・優秀賞



応募総数：36 編

特賞 【小論文部門】	買い物をするときの判断基準 ～小学校2年生の授業実践と分析～ 池田 恭浩さん（京都府 京都教育大学附属桃山小学校教諭）
優秀賞 【小論文部門】	人口の偏在する現代社会における社会科での金融教育の可能性 ～自らの生活や人生を築き上げることのできる自立した生徒の育成を目指して～ 郡司 直孝さん（北海道 北海道教育大学附属函館中学校教諭）
優秀賞 【小論文部門】	次世代型消費者教育の権輿 ～消費者教育推進法が求める新しい消費者教育の実践～ 勝山 光仁さん（神奈川県 神奈川県立厚木商業高等学校商業科教諭）
優秀賞 【実践報告部門】	アベノミクスで学ぶ日本経済 岩村 夏樹さん（神奈川県 神奈川県立麻生総合高等学校商業科教諭）
優秀賞 【実践報告部門】	特別支援学級での金融教育～できることから分ることまで、はじめての一步～ 山中 みゆきさん（愛知県 碧南市立西端中学校非常勤講師）

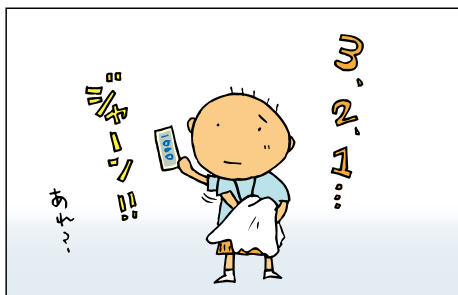
■ これらのコンクールは、2014年度も実施（6月頃募集開始）予定です。多数のご応募をお待ちしております。

知るぽるとホームページの楽しい親子向けコンテンツです！

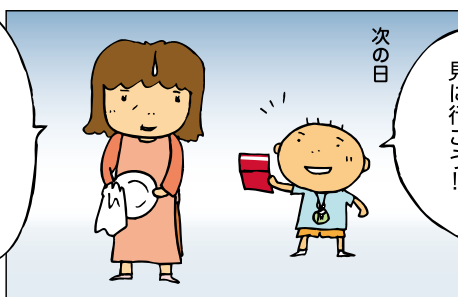
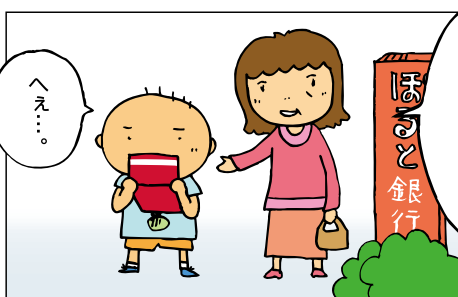
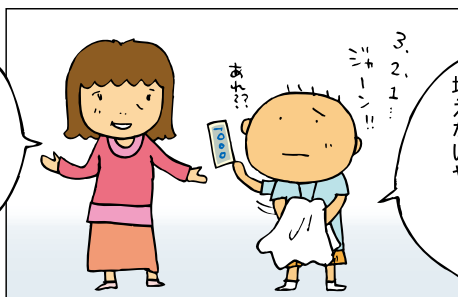
おかねのね

小学生を対象とした教材で、ご家庭で保護者と一緒に楽しくお金の大切さや知識を学べます。
68テーマについて、4コマまんがと子ども向けページ、大人向け解説ページがあります。
親子で一緒に、クイズに挑戦したり、ワークをやってみませんか？

手品みたいに



知るぽるとホームページ
おかねのね
おかねのやくわり道場
(小学3・4年生)より。
銀行や郵便局に貯金させ、
利息を理解させましょう。



おかねししょう師匠がおかねについて、いろいろ教えてくれるよ。
おかねについて、くわしくなろう！

おかねのね

検索



おかねししょう師匠